

2016年度 後期		リフレクションペーパー					
学科名	生物環境化学科						
科目名	生理学						
科目区分	専門科目	単位数	2	開講時期	2年後期		
必修・選択の別	選択必修						
担当者	神武洋二郎						
授業の到達目標 (シラバスから)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・細胞の基本構造を説明できる。</li> <li>・細胞と組織、器官の概略を説明できる。</li> <li>・内分泌ホルモンの生合成・分泌・働きについて説明できる。</li> <li>・病態生理の基礎を理解するために必要な用語と理論を修得できている。</li> </ul>						
日程と内容	9/17：導入講義（授業の進め方と概要の説明、成績評価法等）および人体構造と機能の概略 9/26：細胞の構造と基本機能 10/3：消化器系の種類と機能（1） 10/15：消化器系の種類と機能（2） 10/17：血液・造血器・リンパ系 10/24：循環器系-心臓・血管の働き- 10/31：呼吸器系の仕組みと働き 11/7：腎臓の構造と働き 11/14：中間まとめ 11/21：生殖系-生殖器の機能と調節、妊娠と分娩- 11/28：筋肉系の構造と筋収縮による運動 12/5：内分泌器官の構造と機能、および産生ホルモン 12/12：神経系の構造と働き-ニューロン・シナプス伝達・自律神経系- 12/19：免疫系の構成と生体防御機構 1/16：定期試験 1/23：総合まとめ						
成績評価基準	定期試験		70%	実技			
	臨時試験		30%	部外評価			
	報告書・レポート			プレゼンテーション			
	課題			計		100%	
	演習						
授業到達目標の達成度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・細胞の基本構造を説明できる。達成した。</li> <li>・細胞と組織、器官の概略を説明できる。達成した。</li> <li>・内分泌ホルモンの生合成・分泌・働きについて説明できる。達成した。</li> <li>・病態生理の基礎を理解するために必要な用語と理論を修得できている。達成した。</li> </ul>						
反省点	総合評価8.7点で、特に不満等のコメントはなかった。自学自習の点は、全科目平均より若干高かったものの、依然低い点数であった。						
来年度の計画	自学自習を促進させるため、授業内容の予習復習のポイントを丁寧に説明する。						
授業評価アンケートに対するコメント	特になし。						
履修登録者数	43名	定期試験受験者数	43名	合格者数	43名	合格率	100%